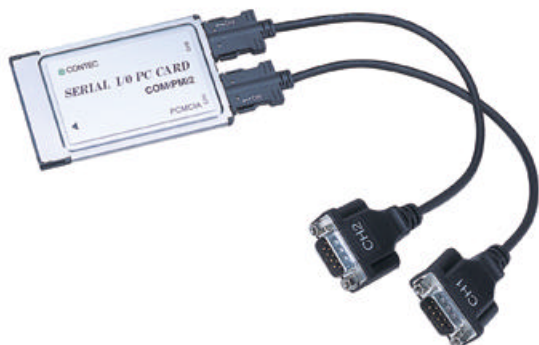


PCカード対応 RS-232C 2ch シリアルI/Oカード

COM-2(PM)

¥31,290 (本体価格 ¥29,800)



このPCカードは、外部装置とRS-232C準拠のシリアル通信を行う、PCMCIA 2.0/JEIDA 4.1準拠のシリアルI/Oカードです。PCMCIA 2.0/JEIDA 4.1以降(PC Card Standardを含む)準拠のPCカードスロットに挿入して使用できます。

PCカード1枚で2チャンネルのRS-232C準拠のシリアルポートを備えています。

添付の標準COMドライバソフトウェア[COM Setup Disk] を使用することで、WindowsまたはLinux標準のCOMポートとしてアクセスすることができます。

特長

- ・ Plug&Play対応していますので、I/OアドレスやIRQのリソース情報は自動的に設定されます。
- ・ 最高115,200bpsの高速通信に対応しています。
- ・ 各チャンネルのボーレートは、ソフトウェアによって個別に設定することができます。
- ・ 送信16byte、受信16byteのFIFOバッファを各チャンネルごとに搭載しています。
- ・ 最大2枚まで同一パソコンに実装して使用することができます。(Windows XP/2000使用時)
- ・ 添付のドライバソフトウェアでWindows、Linuxの標準COMポートとして使用できます。
- ・ PCカードアタッチメントにより、PCカードと接続ケーブルの接合部を保護できます。

仕様

項目	仕様
チャンネル数	2ch
入出力仕様	RS-232C
伝送方式	非同期シリアル伝送
ボーレート	2 ~ 115,200bps *1 *2
データ長	5、6、7、8ビット 1、1.5、2ストップビット *1
パリティチェック	イーブン、オッド、ノーパリティ *1
搭載LSI	16550相当品 (FIFOバッファは、各チャンネルごとに送信用16byte、受信用16byte)
信号延長可能距離	15m以内
割り込み	IRQ3 ~ 5、7、9 ~ 12、15のいずれか1点
I/Oアドレス	16ポート占有
消費電流	5VDC 170mA (Max.)
使用条件	0 ~ 50、10 ~ 90%RH(ただし、結露しないこと)
添付ケーブルの長さ	250mm
対応カードスロット	PCMCIA 2.0/JEIDA 4.1以降(PC Card Standardを含む)準拠
カード形状	TYPE
カード本体の質量	30g(ケーブル含むと90g)

*1 ソフトウェアによって設定することができます。

*2 高速でデータ伝送する場合、外部機器やケーブル長などの環境によって正常な伝送ができない場合があります。

サポートソフトウェア

■ 標準COMドライバソフトウェア COM Setup Disk (添付)

WindowsまたはLinuxで当社製シリアル通信ボードをパソコン本体のCOMポート(標準COM)と同様に使用できるようにするためのソフトウェアです。ボードの増設によりCOM1～COM256まで設定できます。リモートアクセスサービス(RAS)や無停電電源(UPS)などの各種シリアル通信を行うことが可能です。

WindowsではOS標準のWin32APIコミュニケーション関数

(CreateFile(), WriteFile(), ReadFile(), SetCommState()など)に対応しています。Visual Basicのコミュニケーションコントロール(MSComm)に対応しています。

LinuxではOS標準のttyドライバに準拠しています。open(), close(), read(), write()などの標準関数に対応しています。

< 動作環境 >

主な対応OS Windows XP、2000、NT、Me、98、Linuxなど、

▼ 注意

同時に使用できる枚数は、2枚までです。(Windows NT/Me/98/95では1枚までです。)

■ ドライバライブラリ API-PAC(W32) (無償ダウンロード)

当社ハードウェアへのコマンドをWindows標準のWin32API関数(DLL)形式で提供するドライバソフトウェアです。Visual BasicやVisual C/C++などのWin32API関数をサポートしている各種プログラミング言語で、当社ハードウェアの特色を活かした高速なアプリケーションソフトウェアが作成できます。

また、インストールされた診断プログラムにより、ハードウェアの動作確認にも利用することができます。

最新ドライバおよび差分ファイルのダウンロードサービス

(<http://www.contec.co.jp/apipac/>)も行っています。

詳細は、添付CD-ROM内のHelpまたは当社ホームページを参照してください。

< 動作環境 >

主な対応OS Windows XP、2000、NT、Me、98など、

主な適応言語 Visual C/C++、Visual Basic、Delphi、Builderなど、

その他 ライブラリソフトウェアごとに50MBの空き領域を持つハードディスクが必要

▼ 注意

・本ライブラリは、当社独自で定義したローカルな関数(SioOpen(), SioWrite(), SioRead(), SioStatus()など)です。OS標準のWin32APIコミュニケーション関数(CreateFile(), WriteFile()など)との互換性はありません。

・同時に使用できる枚数は、2枚までです。(Windows NT/Me/98/95では1枚までです。)

■ 計測システム開発用ActiveXコンポーネント集

ACX-PAC(W32) (別売)

本製品は、200種類以上の当社計測制御用インターフェイスボード(カード)に対応した計測システム開発支援ツールです。計測用途に特化したソフトウェア部品集で画面表示(各種グラフ、スライダ他)、解析・演算(FFT、フィルタ 他)、ファイル操作(データ保存、読み込み)などのActiveXコンポーネントを満載しています。アプリケーションプログラムの作成は、ソフトウェア部品を貼り付けて、関連をスクリプトで記述する開発スタイルで、効率よく短期間でできます。また、データロガーや波形解析ツールなどの実例集(アプリケーションプログラム)が収録されていますので、プログラム作成なしでパソコン計測がすぐに始められます。

「実例集」は、ソースコード(Visual Basic 他)付きですので、お客様によるカスタマイズも可能です。

詳細は、当社ホームページ(<http://www.contec.co.jp/acxpac/>)でご確認ください。

ケーブル・コネクタ

■ ケーブル (別売)

RS-232C D-SUB9Pストレートケーブル(1.8m)	: RSS-9M/F
RS-232C D-SUB9Pクロスケーブル(1.8m)	: RSC-9F
RS-232C D-SUB25Pストレートケーブル(1.8m)	: RSS-25M/F
RS-232C D-SUB25Pクロスケーブル(1.8m)	: RSC-25F
RS-232Cコネクタ変換ストレートケーブル(25M→9F、1.8m)	: RSS-25M/9F
RS-232Cコネクタ変換ストレートケーブル(25F→9M、1.8m)	: RSS-25F/9M
RS-232Cコネクタ変換クロスケーブル(25F→9F、1.8m)	: RSC-25F/9F

■ コネクタ (別売)

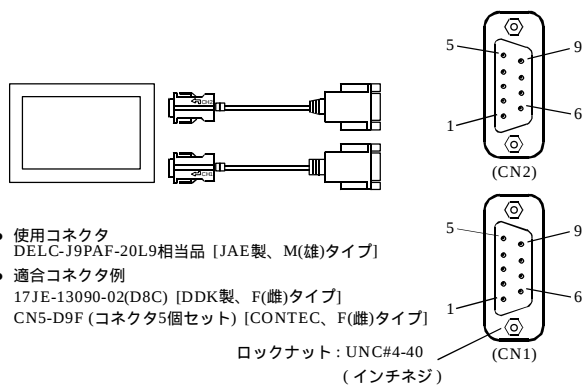
9ピン D-SUB(オス)コネクタ 5個セット	: CN5-D9M
9ピン D-SUB(メス)コネクタ 5個セット	: CN5-D9F
25ピン D-SUB(オス)コネクタ 5個セット	: CN5-D25M
25ピン D-SUB(メス)コネクタ 5個セット	: CN5-D25F

商品構成

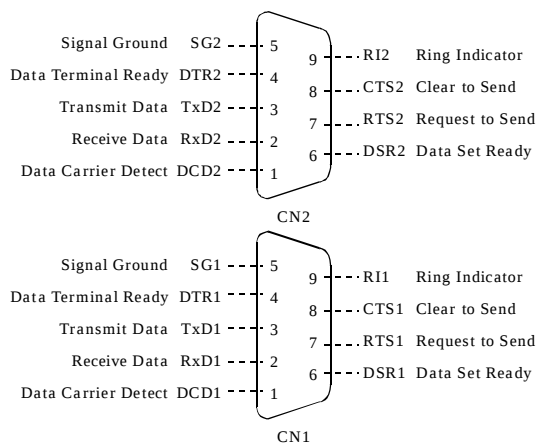
- ・PCカード本体[COM(PM)2] ...1
- ・接続ケーブル(CBPM-2R(PM))...1セット
- ・PCカードアタッチメント(CARD-AT2) ...1セット
- ・説明書...1
- ・COM Setup Disk(CD-ROM)...1
- ・登録カード&保証書...1
- ・登録カード返送用封筒...1
- ・Question用紙...1

インターフェイスコネクタ

接続ケーブル[CBPM-2R]のインターフェイスコネクタを用いて、外部機器と接続します。



- 使用コネクタ
DELC-J9PAF-20L9相当品 [JAE製、M(雄)タイプ]
- 適合コネクタ例
17JE-13090-02(D8C) [DDK製、F(雌)タイプ]
CN5-D9F (コネクタ5個セット) [CONTEC、F(雌)タイプ]



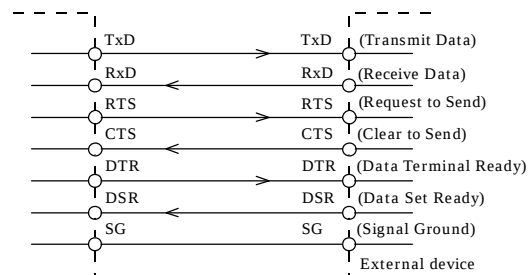
■ ケーブル (別売)

RS-232C D-SUB9Pストレートケーブル(1.8m) RSS-9M/F
RS-232C D-SUB9Pクロスケーブル(1.8m) RSC-9F

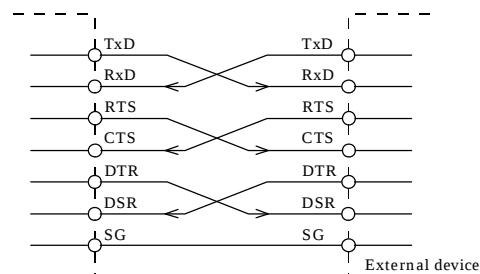
ケーブルの種類と接続例

RS-232Cインターフェイスの接続は、モデムやコンピュータ(パソコン)などのように、接続する機器によって使用するケーブルが異なる場合があります。したがって、ケーブルは接続する外部機器の仕様を確認の上、その種別(仕様)によってストレートタイプ、あるいはクロス(リバース)タイプを用意してください。さらに、コネクタ内で信号線処理の必要がある場合には、仕様に合わせて適切に処理を行ってください。

モデムとの接続例 (ストレートケーブル)



パソコンとの接続例 (クロスケーブル)



機器との接続例

